

眼科研修プログラム

I. 研修について

当科では、白内障、緑内障、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症・加齢黄斑変性など）、斜視、弱視を中心に診療を行っている。午前中は外来診療、火の午前・午後および木の午後は手術、月・水・金の午後は病棟診療が中心となる。手術については白内障手術を中心として、網膜硝子体手術、斜視手術にも対応しており、平成 29 年度は白内障手術 554 例、網膜硝子体手術 69 例であった。平成 30 年 7 月より現在の診療体制となり、斜視手術も多数行っている。

眼科研修においては、日常接することの多い疾患の基礎知識、標準的な診察方法や治療法を身に付けることができるよう、丁寧な指導を心がけている。

II. 研修の到達目標

日常診療における眼科の疾患に対して、適切な判断や処置ができることを目的に眼科領域の基本的知識と技術の修得を目標とする。詳細は以下のとおりである。

1. 眼科の基本的診察法の習得
2. 眼科検査法の手技修得と理解
3. 主な眼科疾患の病態の理解
4. 眼科局所治療薬の種類と仕用法の理解
5. 外傷の初期救急処置ができる
6. 眼科手術治療の原理と方法の理解

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

1 名

VI. 1 週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	外来診察・検査	手術介助	外来診察・検査	外来診察・検査	外来診察・検査
午後	外来診察	手術介助	外来診察	手術介助	外来診察
その他					

VII. 評価方法

「研修評価方法」参照